

CSV different point checker の使い方

# 目次

## 0. インストール

## 1. 用途

## 2. 基本的な使い方

### 2. 1. ファイルの登録

### 2. 2. 比較 Key 列番号の記入

### 2. 3. 比較 Data 列番号の記入

### 2. 4. オフセットの行数の記入

### 2. 5. 開始

## 3. 便利な機能

### 3. 1. 同一データ・消去データの抽出

### 3. 2. 差異超過データの抽出

### 3. 3. 区切り記号の編集

### 3. 4. 設定の初期化

### 3. 5. 取り込みデータの表示

## 4. その他

### 4. 1. フォルダの構成

### 4. 2. 問い合わせ先



## 0. インストール

CSVDiff.lzh を適当なフォルダに解凍します。必ず、CSVDiff.lzh 内にあるすべてのファイルをフォルダの構成もそのまま解凍してください。解凍先にある、CSVDiff.exe がプログラムファイルですので、使用するときダブルクリックしてください。

削除するときは、インストールしたフォルダごと削除してください。特に、レジストリは操作していません。



## 1. 用途

CSV different point checker は、CSV ファイルのような表形式のデータを比較し、内容が同じデータ、差異があるデータ、数値データの差の値が設定値以上のデータなどを、分類ごとにまとめて CSV ファイルに出力します。

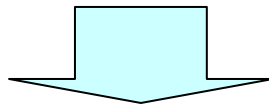
例えばつぎのようなデータを比較すると....

2009.0×.01 6:00の天気

地域	天気	気温
川越	雨	16.5
川口	雨	17
松戸	曇り	18.9
千葉	雨	17.3
習志野	曇り	17.7
船橋	曇り	18.8
葛飾	雨	17.9
中野	雨	16.8
八王子	曇り	15.5

2009.0×.02 6:00の天気

地域	天気	気温
松戸	曇り	12.2
習志野	曇り	14.5
川越	曇り	14.3
八王子	曇り	12.6
船橋	晴れ	12
葛飾	雨	13.5
千葉	曇り	12.1
中野	雨	14.3



### ◆ 同一内容のデータ ◆

比較元ファイル		比較対象ファイル	
比較Key	比較Data	比較Key	比較Data
松戸	曇り	松戸	曇り
習志野	曇り	習志野	曇り
葛飾	雨	葛飾	雨
中野	雨	中野	雨
八王子	曇り	八王子	曇り

### ◆ 異なった内容のデータ ◆

比較元ファイル		比較対象ファイル	
比較Key	比較Data	比較Key	比較Data
川越	雨	川越	曇り
千葉	雨	千葉	曇り
船橋	曇り	船橋	晴れ

### ◆ 失われたデータ ◆

比較元ファイル	
比較Key	比較Data
川口	雨

## 2. 基本的な使い方

基本的な使い方を順に説明します。理解を早めるために、次のようなファイルを比較することを例に取り説明します。

2009.0×.01 6:00の天気

地域	天気	気温
川越	雨	16.5
川口	雨	17
松戸	曇り	18.9
千葉	雨	17.3
習志野	曇り	17.7
船橋	曇り	18.8
葛飾	雨	17.9
中野	雨	16.8
八王子	曇り	15.5


比較元ファイル(TODAY.csv)

2009.0×.02 6:00の天気

地域	天気	気温
松戸	曇り	12.2
習志野	曇り	14.5
川越	曇り	14.3
八王子	曇り	12.6
船橋	晴れ	12
葛飾	雨	13.5
千葉	曇り	12.1
中野	雨	14.3

比較対象ファイル(TOMORROW.csv)

### 2. 1. ファイルの登録

比較するファイルを登録します。をクリックして比較するファイルを選択してください。「比較元ファイル」「比較対象ファイル」の両方のファイルを登録します。「比較元ファイル」は、比較するときに基準となります。消去データを出力するときは、「比較元ファイル」に存在して「比較対象ファイル」に無い項目が出力されます。



## 2. 2. 比較 Key 列番号の記入

比較キーとなる列の番号を記入します。二つのファイルの指定した列の内容が等しい行のデータを比較します。今回の例では、「地域」の列をキーとしますので1列目をキーとします。

2009.0×.01 6:00の天気

地域	天気	気温
川越	雨	16.5
川口 <sup>1</sup>	雨 <sup>2</sup>	17 <sup>3</sup>
松戸 <sup>1</sup>	曇 <sup>2</sup>	18.9 <sup>3</sup>
千葉 <sup>1</sup>	雨 <sup>2</sup>	17.3 <sup>3</sup>
習志野 <sup>1</sup>	曇 <sup>2</sup>	17.7 <sup>3</sup>
船橋	曇り	18.8
葛飾	雨	17.9
中野	雨	16.8
八王子	曇り	15.5

比較元ファイル

2009.0×.02 6:00の天気

地域	天気	気温
松戸 <sup>1</sup>	曇 <sup>2</sup>	12.2 <sup>3</sup>
習志野 <sup>1</sup>	曇 <sup>2</sup>	14.5 <sup>3</sup>
川越 <sup>1</sup>	曇 <sup>2</sup>	14.3 <sup>3</sup>
八王子 <sup>1</sup>	曇 <sup>2</sup>	12.6 <sup>3</sup>
船橋 <sup>1</sup>	晴れ <sup>2</sup>	12 <sup>3</sup>
葛飾	雨	13.5
千葉	曇り	12.1
中野	雨	14.3

比較対象ファイル

無題 - CsvDiff

ファイル(F)

編集(E)

表示(V)

ヘルプ(H)

比較元ファイル

TENKI#TODAY.csv

...

比較対象ファイル

TENKI#TOMOROW.csv

...

オフセット行数

0

比較Key列番号

1

比較するときに通の項目と認識するたのKEYとなる列の番号

比較Data列番号

2

比較対象となるデータの列の番号

開始

出力指定

☐ 同一データ
☒ 差異データ
☐ 消去データ

☐ 差異超過データ

レディ

CAP

## 2. 3. 比較 Data 列番号の記入

比較するデータ列の番号を記入します。二つのファイルの指定した列の内容を比較します。今回の例では、「天気」の列を比較しますので2列目をとします。

The screenshot shows the 'CsvDiff' application window. The title bar reads '無題 - CsvDiff'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', and 'ヘルプ(H)'. The main area contains the following fields and controls:

- 比較元ファイル**: Text box containing 'TENKI#TODAY.csv' with a browse button '....' to its right.
- 比較対象ファイル**: Text box containing 'TENKI#TOMORrOW.csv' with a browse button '....' to its right.
- オフセット行数**: Spin box set to '0'.
- 比較Key列番号**: Spin box set to '1'. To its right is the text: '比較するときに共通の項目と認識するためのKEYとなる列の番号'.
- 比較Data列番号**: Spin box set to '2'. This field is circled in red. To its right is the text: '比較対象となるデータの列の番号'.
- 開始**: A button located to the right of the comparison settings.
- 出力指定**: A section containing several checkboxes:
  - ☐ 同一データ
  - ☒ 差異データ
  - ☐ 消去データ
  - ☐ 差異超過データ

At the bottom left is a 'レディ' (Ready) status indicator. At the bottom right are buttons for 'CAP' and a zoom icon.



## 2. 4. オフセットの行数の記入

表題などのデータとならない行をオフセットとして入力します。先頭のデータまでの行数を入力してください。「比較元ファイル」「比較対象ファイル」の両方のファイルで同じ値が使われます。今回の例では、3列目からがデータ行となりますので、2列目までをオフセットとしています。

2009.0×.01 6:00の天気		
地域	天気	気温
川越	雨	16.5
川口	雨	17
松戸	曇り	18.9
千葉	雨	17.3
習志野	曇り	17.7
船橋	曇り	18.8
葛飾	雨	17.9
中野	雨	16.8
八王子	曇り	15.5

比較元ファイル

2009.0×.02 6:00の天気		
地域	天気	気温
松戸	曇り	12.2
習志野	曇り	14.5
川越	曇り	14.3
八王子	曇り	12.6
船橋	晴れ	12
葛飾	雨	13.5
千葉	曇り	12.1
中野	雨	14.3

比較対象ファイル

無題 - CsvDiff

ファイル(F)

編集(E)

表示(V)

ヘルプ(H)

比較元ファイル

TENKI#TODAY.csv

....

比較対象ファイル

TENKI#TOMOROW.csv

....

オフセット行数

2

比較Key列番号

1

比較Data列番号

2

比較するときに通の項目と認識するためのKEYとなる列の番号

比較対象となるデータの列の番号

開始

出力指定

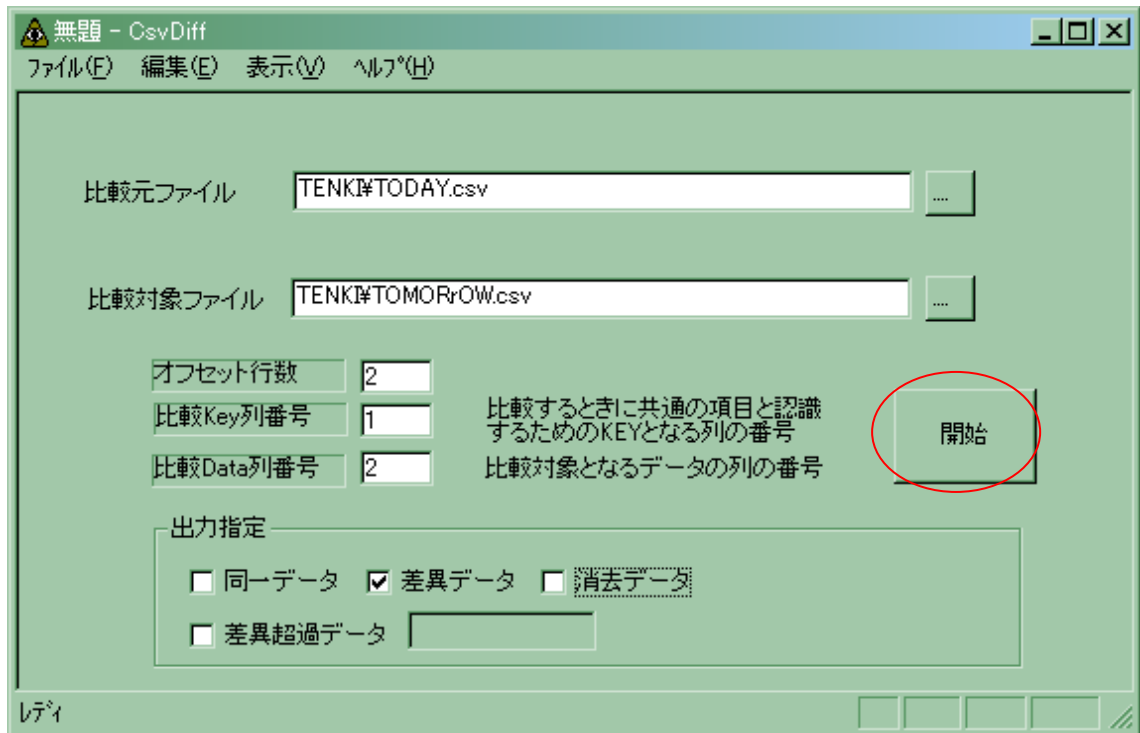
☐ 同一データ
☒ 差異データ
☐ 消去データ

☐ 差異超過データ

レディ

## 2. 5. 開始

「開始」ボタンを押して、比較を開始します。プログラムをインストールしたフォルダ（または、作業フォルダ）に比較結果の「CsvOutput.csv」が作られます。「CsvOutput.csv」はカンマ区切りのファイルで、エクセルで開くことができます。



### CsvOutput.csv ファイル

メモ帳で開いたとき

データの調査結果

#### ◆異なった内容のデータ◆

比較元ファイル,,比較対象ファイル,  
比較 Key,比較 Data,比較 Key,比較 Data  
川越,雨,川越,曇り  
千葉,雨,千葉,曇り  
船橋,曇り,船橋,晴れ

エクセルで開いたとき

データの調査結果

#### ◆異なった内容のデータ◆

比較元ファイル	比較対象ファイル		
比較Key	比較Data	比較Key	比較Data
川越	雨	川越	曇り
千葉	雨	千葉	曇り
船橋	曇り	船橋	晴れ

### 3. 便利な機能

#### 3. 1. 同一データ・消去データの抽出

「同一データ」をチェックすると「CsvOutput.csv」に比較 Data が等しい内容の情報を出力します「消去データ」をチェックすると、「比較元ファイル」にあつて「比較対象ファイル」には対応するキーの無いデータが出力されます。今回の例のデータ出力は、次のようになります。消去データの「川口」は、「比較元ファイル」にあつて「比較対象ファイル」に無いデータになります。

同一データの出力

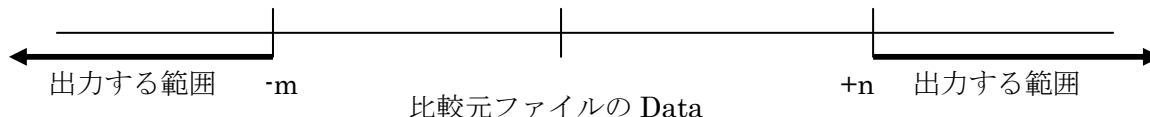
データの調査結果			
◆同一内容のデータ◆			
比較元ファイル		比較対象ファイル	
比較Key	比較Data	比較Key	比較Data
松戸	曇り	松戸	曇り
習志野	曇り	習志野	曇り
葛飾	雨	葛飾	雨
中野	雨	中野	雨
八王子	曇り	八王子	曇り

消去データの出力

データの調査結果		
◆失われたデータ◆		
比較元ファイル		
比較Key	比較Data	
川口	雨	

### 3. 2. 差異超過データの抽出

「差異超過データ」は、設定した値以上異なった数値の比較 Data を出力します。比較元ファイルの値を基準に比較対象ファイルの値が設定した差分の値以上異なるものを出力します。チェックをすると差分を設定するダイアログを表示します。差分となる値を入力してください。差分の例と、今回の例で差分を-5 にした場合の出力例を次に示します。



例① 差分：5 比較元ファイル Data：30 の場合 35 を超える場合に出力

例② 差分：-10 比較元ファイル Data：15 の場合 5 未満の場合に出力

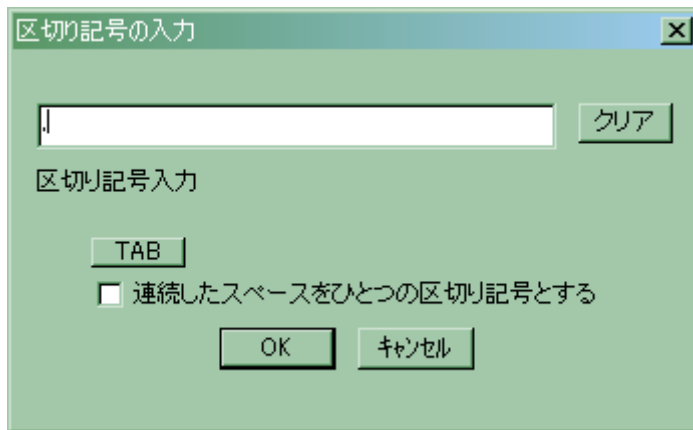
データの調査結果			
◆差が-5を超えるデータ◆			
比較元ファイル		比較対象ファイル	
比較Key	比較Data	比較Key	比較Data
松戸	18.9	松戸	12.2
千葉	17.3	千葉	12.1
船橋	18.8	船橋	12

※今回の例では、比較 Data 列番号を 3 にして比較を開始しています。



### 3. 3. 区切り記号の編集

[編集]-[区切り記号編集]で、列を区切る記号を編集することができます。  
TAB を区切り記号に指定する場合は、[TAB]ボタンを押し入力してください。連続したスペース（空白）を、ひとつの区切り記号とみなす場合、「連続したスペースをひとつの区切り記号とする」をチェックしてください。  
あとに説明する「取り込みデータの表示」機能を使って調整すると便利です。



区切り記号の入力

|

クリア

区切り記号入力

TAB

☐ 連続したスペースをひとつの区切り記号とする


OK キャンセル

### 3. 4. 設定の初期化


このプログラムはプログラムを終了した場合でも前の設定を保持しています。設定を初期設定に戻すには、[編集]-[設定の初期化]を選択して、設定を初期化してください。

### 3. 5. 取り込みデータの表示



 ボタンを押すとプログラムがデータを取り込みます。この取り込んだデータ表示することが出来ます。[表示]・[比較元の表示]または[比



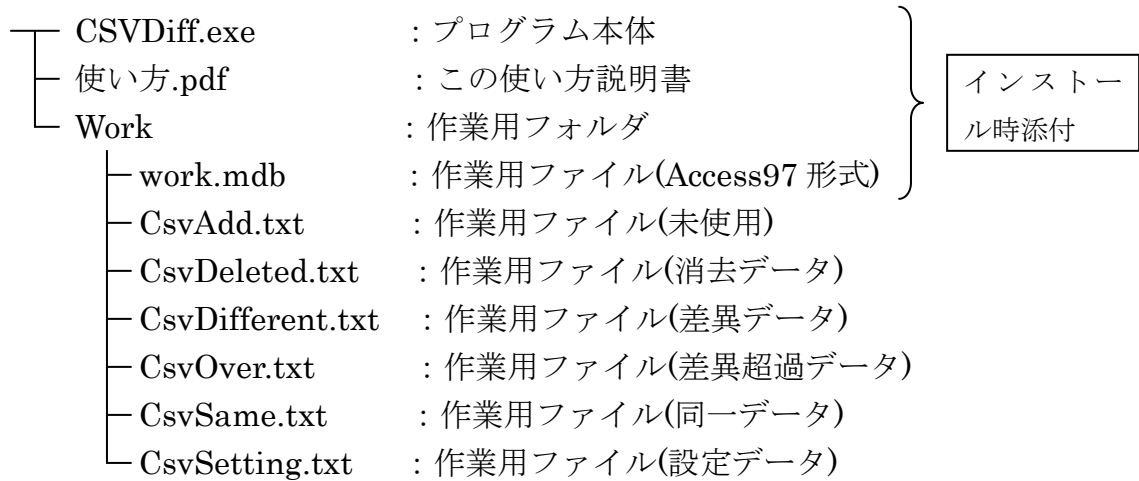
比較対象の表示]でデータを確認してください。  ボタンを押す前でも、取り込みデータの表示をすることはできますが、表示されるデータは前回比較時のデータです。今回の例を、次に示します。

[illegible][illegible]

#### 4. その他

##### 4. 1. フォルダの構成

このプログラムが使用するファイル構成を示します。



##### 4. 2. 問い合わせ先

このプログラムに関するお問い合わせは次のメールアドレスにお願いします。

[tom@star.wjg.jp](mailto:tom@star.wjg.jp)